

筑波研究学園都市記者会
令和5年9月29日配布

令和5年9月29日
国土技術政策総合研究所
国立研究開発法人土木研究所

「第30回 ボール紙で作る橋コンテスト」審査会を開催！

国総研と土研では、日本の将来を担う小学生に、「ものづくりを通じて生活を支えている橋等の土木インフラの大切さを知ってもらう」ことを目的として「ボール紙で作る橋コンテスト」を開催しております。

この度、「第30回 ボール紙で作る橋コンテスト」に応募いただいた457作品の審査を行います。

1. 日時：令和5年10月3日（火）10：00～12：00
2. 場所：国土技術政策総合研究所（旭庁舎）（茨城県つくば市旭1番地）
2階201会議室

3. 審査概要

構造、美術・デザイン、独創性の観点から、以下の表彰作品を選定

○最優秀賞 ○構造デザイン賞 ○美術デザイン賞 ○努力賞

※過去の表彰作品はこちらのHPよりご確認ください。

<https://www.nilim.go.jp/lab/bbg/event/bricon/naiyo.html>

★報道関係の皆さまへ

審査の様子取材を希望される場合は、10月2日（月）までに以下を記載の上、メールにて、nil-tsukuba-event@gxb.mlit.go.jp までご連絡ください。

- ・件名：【取材希望】橋コンテスト審査会
- ・本文：「氏名（ふりがな）」「ご所属」「メールアドレス」「直通電話番号」

（注）審査結果は11月18日（土）表彰式まで非開示



昨年度の審査会の様子

（問い合わせ先）

国土交通省国土技術政策総合研究所 企画部企画課主任研究官 田中

TEL：029-864-2674 E-mail：nil-tsukuba-event@gxb.mlit.go.jp



ボール紙で作る橋コンテスト
学園の森義務教育学校
渡壁太智さん
守り橋

製作者の作品アピール：アカハライモリは日本固有の準絶滅危惧種で、みんなに知ってほしいと思います。イモリの名前には「守る」という意味があるのを、みんなを守ってくれるようにこの名前にしました。橋をイモリの体のようにS字に曲げるところがむすかかったです。
審査員の講評：目も足も体の色もアカハライモリにそっくりな橋ができあがりました。その口の中に入り、出口が見えないようにS字のかたちに曲がった橋をわたることで、スリルいっぱい体験ができそうです。この橋は、まわりの川や山、森の守り神として、多くの人に注目され愛されることでしょう。



ボール紙で作る橋コンテスト
鳥名小学校
高橋涼さん
ゆかいなあおむしアーチ

製作者の作品アピール：普通に見るとかわいいあおむしだけど、逆さにするとアーチ橋になります。
審査員の講評：青虫のかたちをした橋は、せなかの面とおなかの面でまったく違った橋になります。せなかを上すると「つり橋」のようになり、おなかを上すると「たいこ橋」のようになります。ひとつの橋を2度楽しめるゆかいなあおむしアーチの橋は、それぞれの部品がささえ合って強度をたもつ、なかよしの橋でもあるのです。



ボール紙で作る橋コンテスト
鳥名小学校
高橋佑季さん
左右あげあげ橋

製作者の作品アピール：橋げたは、トラス構造で強度をもたせています。橋はレバーを上あげると、左右に開き、大きな舟が渡る仕組みになっています。
審査員の講評：橋のまん中の柱が上になると、あらふしぎ！左右のゆかがはね上って、大きな船が通れるようになります。とても美しい橋ですが、その動きも手品を見えるようにします。船が通る度に、多くの観客が集まって、拍手をすることでしょう。橋は通るためだけでなくシアターにもなるのです。

「橋として丈夫(じょうぶ)で安定している」作品



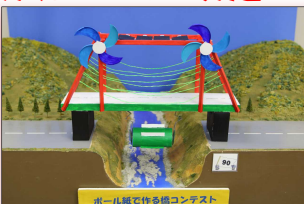
手代木南小学校
千葉宏志郎さん
シンプル イズ ベスト

審査員の講評：一見アーチが細くて弱そうに見えますが、けたと橋脚は横なぎの部材でしっかりと補強された構造となっています。シンプルでも構造的にベストな強さをかね備えています。



手代木南小学校
渋谷健吾さん
理想橋(コートピア)

審査員の講評：橋のうら側が三角形に加工された紙をハチの巣状につなげることで補強されており、そのハニカム効果でもとても強い橋に仕上がっています。また、スロープの部分を折りたためるアイデアもユニークです。



大曽根小学校
小島壮一郎さん
エコ発電橋

審査員の講評：自然条件をうまく活用し、橋に太陽光・風力・川の水力で発電するという新しい価値を加えたすばらしい発想です。カーボンニュートラルの実現に向けて未来の橋のコンセプトを提案している作品です。



春日学園義務教育学校
小笠原悠さん
ドリミ散歩橋

審査員の講評：木をリアルに再現した棒状の部材をひもでしっかりと連結することで、橋げたとしての強度を確保した構造となっています。板を連結するひもは縦と横に多重に配置されており、強度の信頼性を高めています。



吾妻小学校
坂本海さん
stegosaurus

審査員の講評：ボール紙を重ねてアーチを強くし、X状の補強部材をアーチの下側に配置することで橋全体の強度を高めています。ステゴザウルスの背骨をアーチ上している点が構造的にもユニークです。

「形や色、仕上がりの美しい」作品



吉沼小学校
飯岡崇真さん
リュウのはし

審査員の講評：龍の猛々しい存在感を表すディテールと彩色とていねいな作りこみに目をうばわれました。やぐらとカラフルなちょうちんが下がる橋は、山間の谷川にげん想的にあらわれた中華飯店のような印象です。



要小学校
飯村李恩さん
橋 de Sky (はしですか?)

審査員の講評：青と白のツートンカラーでまとめたスタイリッシュなデザインとプライベートジェット機のようなコンパクトなサイズが美しいです。自然災害地に飛んできて橋の役割にもなる未来の飛行機です。



竹園東小学校
岡部稜央さん
グリーン・ブリッジ

審査員の講評：風力発電のためのプロペラをもっており、温暖化の原因となるCO2をへらしてくれる草原のようなかたちをしています。人工物である橋を自然物に近づけようと試みたくす作品です。



竹園東小学校
西川緒美さん
ブルーライトブラック

審査員の講評：凛とした直線美とおおらかな曲線美をシメトリーにまとめ上げた組み合わせは余計なものを一切なくした、無駄のないデザインです。ライティングの仕かけもさん新です。



並木小学校
新井那奈美さん
エコヤマ橋

審査員の講評：大きなエコヤマは人の気持ちがおだやかに地球のエネルギー資源の節約にもなる大切な役割を果たしています。生物の有機的なすがたを機能的にデフォルメした造形と彩色が秀でています。



「ほくらしさ、わたらしさ(独自の工夫)」に優れた作品



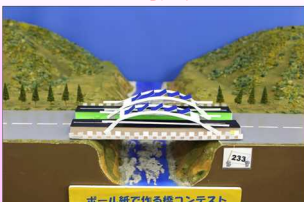
大曽根小学校
下瀬航一さん
オロチ

審査員の講評：一見、普通の橋のようですが、折りたたむことができ、形が変わる面白い橋です。オロチのようなデザインのこの橋が近所にあつたら、毎日ワクワクしながらわたることができそうですね。



九重小学校
宮原啓さん
自然の色の運ばんきょう

審査員の講評：ゴンドラをつり下げて運ばん橋にしたことが、特徴の一つとなっています。はしごを上がったところに自然があるので、歩行者が自然の中でリラックスしている間にも橋をわたることができそうです。



竹園東小学校
七澤龍明さん
公園橋

審査員の講評：今ある美しい環境を守るために太陽光パネルや電気自動車など、クリーンな環境作りを焦点を当てて作られた橋です。細部までいねいに作られており、仕上がりもシャープで都会的な美しさがあります。



学園の森義務教育学校
久保田彩雪さん
ドリームワールドブリッジ

審査員の講評：カラフルな色やデザインなど、一つ一ついねいに作りこまれた橋です。星空の部分も、まるで本物の星空にいるかのようげん想的です。橋を渡った人は幸せな気持ちでいっぱいになりそうです。



春日学園義務教育学校
常陸克行さん
ドローン橋

審査員の講評：この橋は、災害地にもすぐ対応できるようにという考えからドローンをモチーフに作られています。みなさんに未来をたくす私たちに、心強くなったのしい橋だと感じました。

参加校：つくば市内30小学校、参加者数：413名(413作品)

令和4年は、コロナ禍の影響を踏まえ、学校奨励賞および土木の日賞の選定は、実施していません。また、作品製作時の密回避の観点から、個人参加のみ(グループ参加を取りやめ)としています。